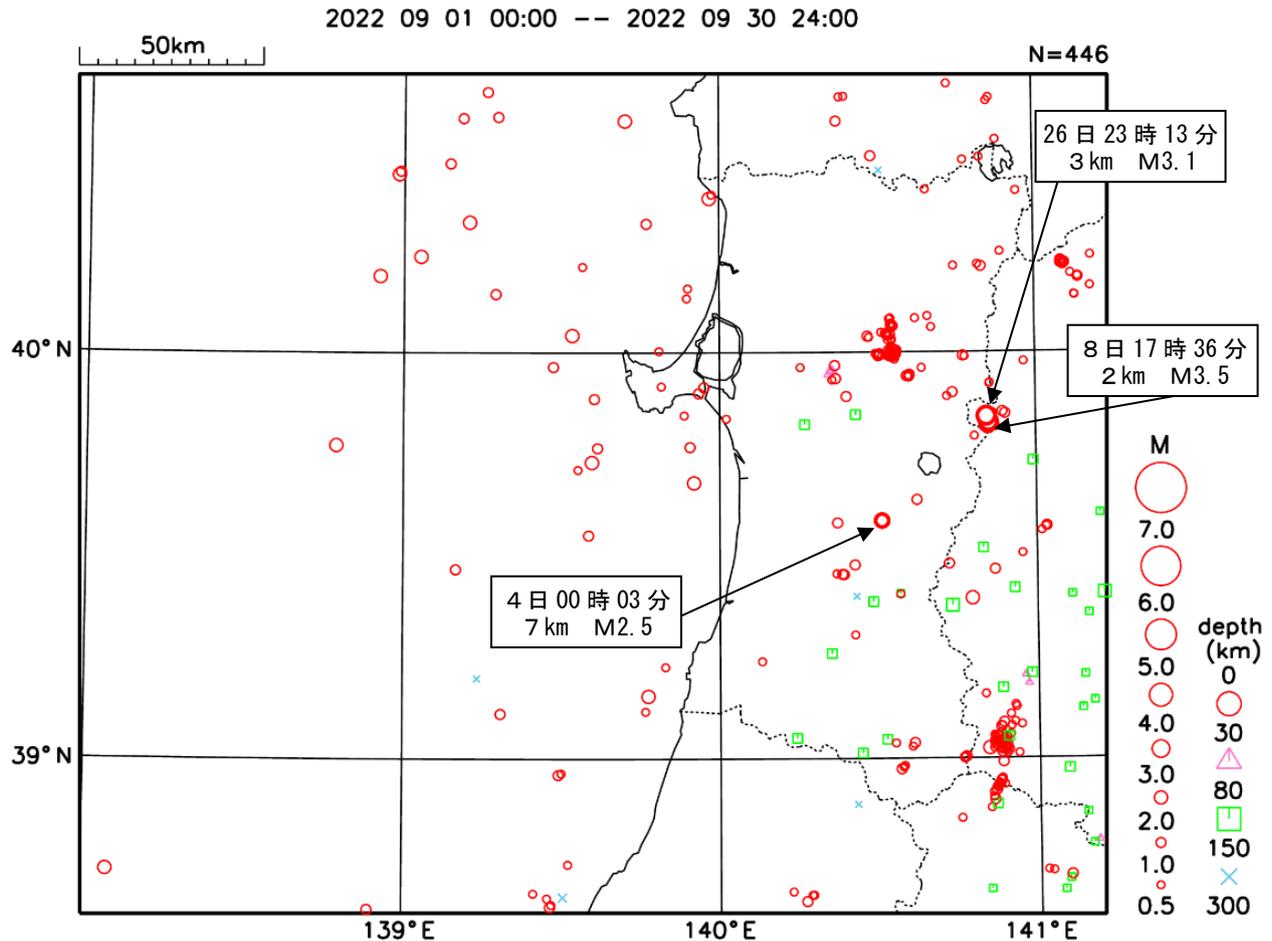


秋田県月間地震概況

秋田地方気象台

2022年9月

【震央分布図】



〈9月の地震概況〉

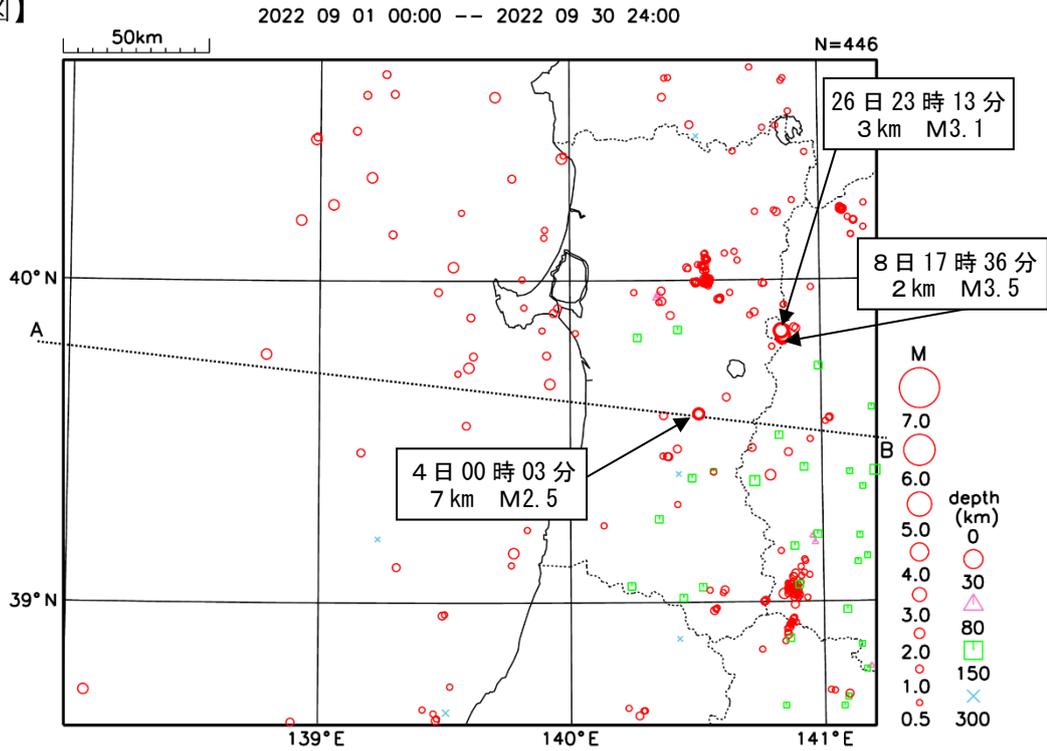
県内で震度1以上を観測した地震は4回（8月：6回）で、そのうち図の範囲内を震源とする地震が3回、図の範囲外を震源とする地震は1回であった。

4日00時03分に秋田県内陸南部の深さ7 kmでM2.5の地震が発生し、大仙市と仙北市で震度1を観測した。この地震は地殻内で発生した。

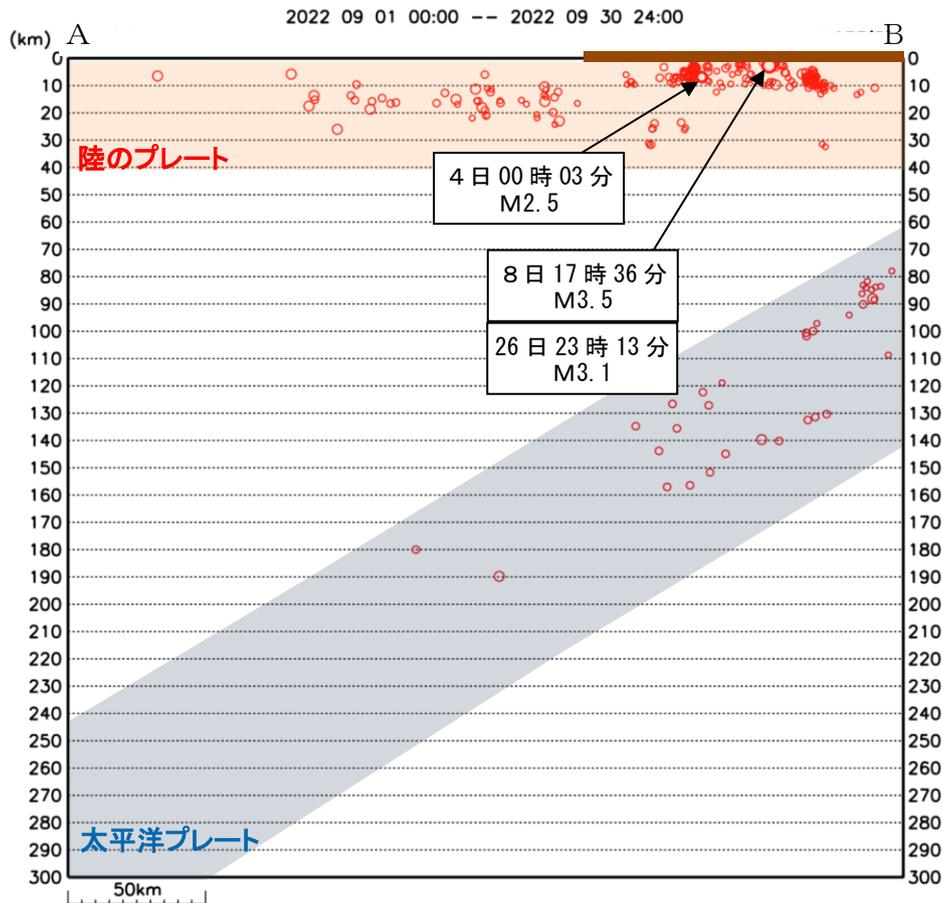
8日17時36分に岩手県内陸北部の深さ2 kmでM3.5の地震が発生し、秋田県と岩手県で震度2～1を観測した。県内では仙北市で震度2、北秋田市で震度1を観測した。また、この地震の震源付近では26日23時13分に深さ3 kmでM3.1の地震が発生し、仙北市で震度1を観測した。これらの地震は地殻内で発生した。

27日01時05分に青森県東方沖の深さ25 kmでM5.0の地震が発生し、北海道、青森県、岩手県、宮城県で震度2～1を観測した。県内では、大館市、北秋田市、横手市などで震度1を観測した。

【震央分布図】



【断面図】 (震央分布図内の直線A－Bを断面として投影した震源の深さの分布)



- ※ 太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。
- ※ —— は陸地の大まかな位置を示している。
- ※ 陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。
 なお、海域地殻内の地震の震源（日本海の浅い地震など）は、実際にはより浅いものが多いと考えられる。

秋田県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2022年9月1日～2022年9月30日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2022年09月04日00時03分	秋田県内陸南部	39° 35.1' N	140° 30.6' E	7km	M2.5
秋田県	震度 1 : 大仙市北長野* 仙北市角館町小勝田*				
2022年09月08日17時36分	岩手県内陸北部	39° 49.6' N	140° 51.0' E	2km	M3.5
秋田県	震度 2 : 仙北市田沢湖田沢*				
	震度 1 : 北秋田市新田目* 仙北市西木町上桧木内* 仙北市田沢湖生保内上清水*				
2022年09月26日23時13分	岩手県内陸北部	39° 50.4' N	140° 50.6' E	3km	M3.1
秋田県	震度 1 : 仙北市西木町上桧木内* 仙北市田沢湖田沢*				
2022年09月27日01時05分	青森県東方沖	40° 31.3' N	142° 55.2' E	25km	M5.0
秋田県	震度 1 : 三種町森岳* 由利本荘市前郷* 大館市比内町味噌内 大館市桜町*				
	大館市比内町扇田* 大館市早口* 鹿角市花輪* 小坂町小坂砂森*				
	北秋田市花園町 北秋田市新田目* 横手市大雄* 大仙市高梨*				
	仙北市角館町小勝田*				

(注) 地震の震源要素等は暫定値であり、再調査により変更することがある。

各地の震度は秋田県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

11月2日（水）は緊急地震速報の訓練に参加しましょう！

～緊急地震速報を見聞きした際の行動訓練～

緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間がごくわずかであり、その短い間に、慌てずに身を守るなどの防災対応をとるためには日頃からの訓練が重要です。

<訓練に参加しましょう>

11月2日（水）に、緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。当日は午前10時00分頃に訓練に参加する地方自治体の防災行政無線や、一部商業施設などで、緊急地震速報の放送があります。訓練参加機関のホームページや広報誌などのお知らせをご確認いただき、積極的に訓練へご参加ください。

※テレビ・ラジオ（一部コミュニティFM等を除く）の放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メールには流れません。

お近くに訓練参加機関がない場合でも気象庁ホームページで訓練用動画を公開しています。会社や学校での訓練に是非ご利用ください。

・気象庁HP：緊急地震速報訓練を実施するための映像・教材など

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/kunren/kit.html>

<11月5日は「津波防災の日」>

2011年3月の東日本大震災で甚大な津波被害が発生したことから、同年6月、津波被害から国民の生命、身体・財産を保護することを目的に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、毎年11月5日を「津波防災の日」とすることとしました。また、2015年12月に行われた国連総会では、日本をはじめとする142か国の共同提案により11月5日を「世界津波の日」に制定することが決定されました。

本訓練は、例年11月5日の津波防災の日（世界津波の日）の前後に行っています。

緊急地震速報を聞いたら、どうすればいいの？

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。



頭を守って、安全な場所に避難！



危ない場所から離れて！



お店では、あわてず係員の指示に従って！

シェイクアウト訓練

> シェイクアウト訓練とは、地震の際の安全確保行動1-2-3「まず低く、頭を守り、動かない」を身につける訓練です。当日、シェイクアウト訓練が行われる自治体にお住まいの場合は積極的に参加してみましょう。



まずひくく
DROP!



あたまをまもり
COVER!



うごかない
HOLD ON!

詳しくは気象庁HPをご覧ください。

・気象庁HP：緊急地震速報の訓練（令和4年11月2日）

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/kunren/kunren.html>

出典：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議